

商工会 ExpressNews

2月増刊号

立春が過ぎました。かすかに春の足音が！気温と共に景気も上向きますように。



短時間労働者割合が高い岐阜県～毎月勤労統計調査特別調査より～

★毎月勤労統計調査特別調査とは、**常用労働者1～4人の事業所を対象として年1回7月分について実施されるものです。**平成29年7月31日現在で実施した結果が発表されました。

1. 賃金

◆常用労働者1～4人規模事業所のきまって支出する現金給与額は**17万5320円**で、前年と比べ**2.7%**減少となった。(全国は前年に比べ**0.3%**増と2年連続の増加)【表1】

(表1) きまって支出する現金給与額

区分		実額	前年比
岐阜県	28年	180,204円	1.6%
	29年	175,320円	▲2.7%
全国	29年	196,363円	0.3%

◆過去1年間に支給された、賞与など特別に支払われた現金給与額は**19万7687円**で、前年と比べ**5.8%**減少となった。(全国は前年に比べ**0.1%**増と7年連続の増加)【表2】

(表2) 過去1年間に特別に支払われた現金給与額

区分	実額	前年比	支給割合	前年差	
岐阜県	28年	209,776円	3.5%	1.16ヵ月分	0.02ヵ月
	29年	197,687円	▲5.8%	1.13ヵ月分	▲0.03ヵ月
全国	29年	227,457円	0.1%	1.16ヵ月分	0.00ヵ月

2 労働時間

◆1日の実労働時間は**6.7時間**で、前年(**6.7時間**)と同水準となった。また、月間出勤日数は**19.8日**で、前年(**19.7日**)に比べて**0.1日**増加となった。【表3】

(表3) 1日の実労働時間数、月間出勤日数

区分	1日の実労働時間数	月間出勤日数
岐阜県	28年	6.7時間
	29年	6.7時間
全国	28年	7.0時間
	29年	7.0時間

3 雇用

◆勤続1年以上の常用労働者数は**24,871人**で、前年に比べて**24.6%**減少となった。(全国は前年に比べ**2.3%**減少)【表4】

(表4) 勤続1年以上の常用労働者数

区分	29年	28年	前年比
岐阜県	24,871人	32,985人	▲24.6%
全国	1,716,139人	1,755,999人	▲2.3%

4 短時間労働者の割合

◆労働者に占める短時間労働者の割合は前年比**3.4%**増の**38.7%**で全国1位となった。【表5】

(表5) 短時間労働者の割合

区分	29年	28年	前年比
岐阜県	38.7% (1位)	35.3% (3位)	3.4%
全国	29.2%	28.9%	0.3%

★ミニ解説 ～ 勤労統計特別調査 ～

全国平均に比べて給与額が低いことや、労働時間数が短いことなどは、岐阜県が短時間労働者の割合が全国で1番高いことが関係していると推察できる。短時間労働者は女性が圧倒的に多いため、「妻は仕事より家庭を守るべき」という性別役割分担意識が高いのかもしれない。

◎ミニ情報 ～ 「完全雇用」状態 ～

2017年の完全失業率は**2.8%**、23年ぶりに**3%**を割った。これは働きたい人全て就業できる「完全雇用」の状態を示す。人材獲得競争が激化している。

アイデアのヒント！～黄金比率変えてみる？！

ビールのおつまみといえば「柿の種」、通常の柿の種は、柿の種とピーナツの割合が重量比で6対4、ところがネット通販「アマゾン」専用商品として昨年7月に登場したのはその比率が3対7の「亀田の柿の種たっぷりピーナツ」。ピーナツ好きにはたまらないこの商品、ネットやSNSの声を反映して商品化されたものである。またあるブランドは1セット1.5足(つまり3枚)の靴下を販売している。片方だけに穴が開いた時の予備でもいいし、片足ずつ違う色を履くことも楽しめる。同ブランドのコンセプトは「今まで見たことのないスタンダード」の提案。「固定概念を覆すことで可能性がひろがる」という。

2つの例はどちらも全く新しい商品を開発したわけではないところがポイントではないでしょうか。数(大きさ・量)を変えてみる、組合せを変えてみる、割合を変えてみる、ちょっとした視点の変化がもたらすアイデアからヒット商品が生まれるかもしれません。